



茅ヶ崎市

下町屋ポンプ場整備事業

浸水被害を軽減し、安心して快適に暮らせる環境づくりを！



はじめに

近年、市街地の進展や降雨量の増大、豪雨の頻度等に伴い、浸水被害が頻繁に生じています。そのため、浸水対策計画に当たっては、雨水管渠の整備を順次行い、また、河川の計画高水位、地形等を考慮し、強制排水を必要とする排水区に雨水ポンプ場を設け、浸水の緩和を図っています。

茅ヶ崎市において、既に計画設置されているポンプ場は、今宿ポンプ場を拠点として、柳島ポンプ場、中島ポンプ場があり、4番目のポンプ場として下町屋ポンプ場の計画、整備を推進しています。

下町屋ポンプ場の計画は、平成16年度より調査設計を開始し、平成18年度から工事を着手し、平成21年度までの4箇年で工事を完了する予定です。

既設のポンプ場は、排水能力約1.2m³/秒（対象排水区約11.65ha、下町屋団地）で運転されてきましたが、今回の計画により排水能力約6.25m³/秒（浜之郷排水区、約61.09ha）にアップされます。

このことにより、対象地域が拡大され、地域の治水がより安全でより安心な環境となります。